

## 名取川の渇水を釜房ダムから貯留水の補給でサポート

平成27年8月6日に名取川水系渇水対策支部（仙台河川国道事務所・釜房ダム管理所）『注意体制』が設置され、現在も継続中です。

5月からの少雨のため、釜房ダムでは、関係する利水者との綿密な連絡調整と協力体制による貯水位運用を実施しております。

### ■釜房ダムの実績

#### ○補給量

平成27年7月3日以降の釜房ダムからの補給日数及び補給量  
（平成27年8月24日現在）

53日間の内42日の補給 約79%

42日間の合計補給量 約1,300万m<sup>3</sup>（東京ドーム約10杯分）

1日平均 約31万m<sup>3</sup>

※補給量：ダムへの流入量以上にダムから放流（利水取水）を行った日及びその放流量（取水量）が流入量を上回った量の総量（m<sup>3</sup>）

補給量は、水利用に影響を与えないよう、各関係利水者が一体となって決めております。

### ■釜房ダム利水補給の効果

釜房ダムからの利水補給は、仙台市水道においてはダム湖から直接取水され、安定的に供給されており、稲作などに使われるかんがい用水は、ダム放流により下流河川から補給しております。

○仙台平野 約3,700haの水田で使用。

○仙台市水道水の約4割分の水を供給。

<発表記者会：宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会>

#### 問い合わせ先

国土交通省 東北地方整備局 釜房ダム管理所  
宮城県柴田郡川崎町大字小野字大平山10-6  
電話 0224-84-2171（代表）

管理所長 鹿野 安彦（内線201）

# 釜房ダムの渇水に対する利水効果(1/2)

## 【釜房ダムから水を補給しています】

- 釜房ダムは、県内有数の米どころである仙台平野約3,700haの水田に、かんがい用水を補給しています。
- また、100万都市である仙台をはじめとする地域の生活を支える水瓶となっています。
- 今年少雨傾向を示し、特に7月以降は釜房ダム流域で37%の降雨量となり、これに伴い貯水位も急激に低下し、渇水が懸念される状況となりました。
- 釜房ダム管理所では、各利水者と調整し**安定的に水利用ができるようダム貯留水による水を補給**しています。

## 【渇水の要因】

- 平成27年5月以降の降雨量(ダム流域平均)を過去10ヶ年平均と比較すると「5月:26%」、「6月:100%」、「7月:37%」となっており、降雨が極端に少なくなっている事から渇水状況となっています。

## 【利水調整会議・渇水情報連絡会による調整】

- 6月以降、利水調整会議(1回:釜房ダム管理所開催)や渇水情報連絡会(全4回:仙台河川国道事務所開催)及び意見交換会等を行いました。
- 各利水者との相互理解を深め、取水状況や必要流量について率直な情報交換を実施しております。
- これにより、互いの水利用の運用状況を踏まえ、釜房ダムではきめ細やかな放流調整を行い、**各関係者が一体となった渇水対策を実施**しております。



6月17日会議



8月3日会議

名取橋観測所流況写真 6月2日  
釜房ダムからの補給前状況



補給により下流の流況が改善



名取橋観測所流況写真 7月7日  
釜房ダムからの補給後状況



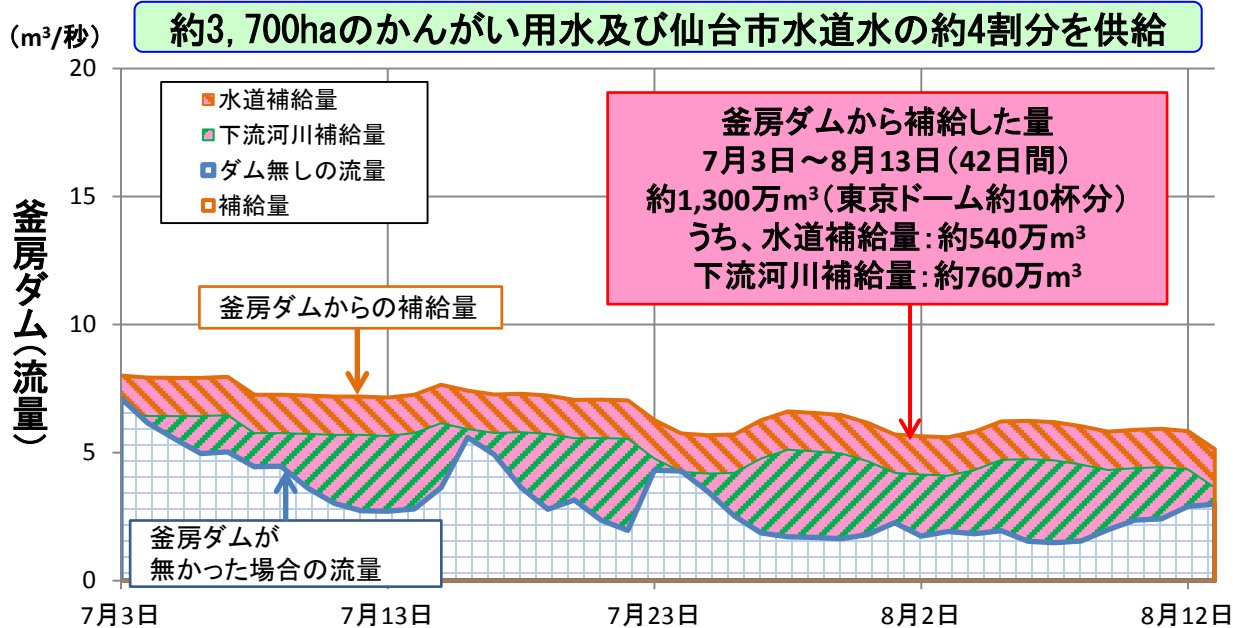
# 釜房ダムの渇水に対する利水効果(2/2)

## 【利水補給の状況】

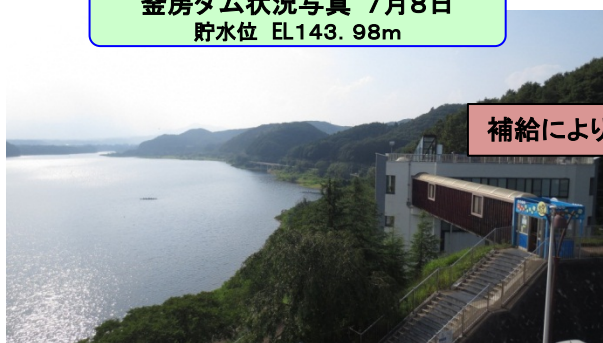
- ・かんがい用水はダム下流にある名取川頭首工から取水しています。地元農家によるきめ細やかな用水管理により、水稻の健全な育成が図られています。
- ・仙台市の水道水は、ダム湖より直接取水した水を浄水処理して供給されています。  
(仙台市の水道は複数の水源を有し、安定的に供給されています。)



釜房ダムにて下流河川の流量を確保するため、約1,300万 $m^3$  (東京ドーム約10杯分)のダム貯留水を補給



釜房ダム状況写真 7月8日  
貯水位 EL143.98m



釜房ダム状況写真 8月20日  
貯水位 EL140.22m



補給によりダム水位が低下